

生活



# 回収プロジェクトが始動

タンスの肥やしになって  
いる古着の中でも捨てるに  
捨てられないのが下着だ。  
しかし、欧米では下着も中  
古衣類の一つと扱われ、東  
南アジアを中心とする発展  
途上国でリユース下着とし  
て再販されている。こうし  
た中、下着再活用を目的に  
した回収プロジェクトが動  
き出した。(日野稚子)

## 需要高い日本製

各自治体が資源として集  
めた古布や衣類は故繊維  
(回収された衣料品や布類)  
業者などに引き渡される。  
また使えそうな状態のもの  
は中古衣料品として輸出さ  
れ、東南アジアなど発展途  
上国で販売されている。古  
着同様、中古下着も専門店  
で販売され、リユースされ  
る。多くが、下着も古着と考  
える欧米からの中古品だ。  
首都圏の自治体で回収し

た古着処分について、業界  
団体の担当者は「日本製は  
品質も良く、特に女性用下  
着は着心地がいたため、  
需要が高いと聞いている」

## リユース下着を海外市場へ



東南アジアなどの発展途上国では世界中から集まった中古下着が活用されている—カンボジア・プノンペン市  
(日本リユースシステム提供)

と話す。  
しかし、下着の処分に躊躇したり、不安感を持った  
りする女性が多い。処分過  
程を知らなかったり、持ち  
去られたりするのを恐れる  
ためだ。メーカーのワコー  
ルやトリンプ・インターナ  
ショナル・ジャパンはブラ  
ジャーなどを集め、産業用  
固形燃料にするリサイクル  
活動を毎年行っている。

## 業者へ委託する手も

中古品の処分にリサイクルショップを活用する人も多いが、程度が良くても人気がないと判断され、引き取ってもらえないこともある。一部のメーカーや販売店が自社品を回収しているが、対象外の衣料品なら持ち込みを受け付ける

## 故繊維業者へ委託する手もある。

中古繊維品の輸出を手掛ける業界団体の日本繊維輸出組合(神戸市中央区)はホームペー  
ジで古着回収の目安を紹介。自分が使う程度に清潔さが保たれた衣服や下着類、タオルやハンカチ、シーツなども活用できるが、ペット用タオルなどは不可という。

こうした中、海外の中古下着市場から需要が高く、捨てきれずに眠り続ける国内下着類のリユースを始め、リクルートライフスタイル(東京都千代田区)の通販マガジン「eyeco(アイコ)スペシャル」。今年9月、寄付プロジェクト「下着 de (で) 乳(New)スマイル」を立ち上げた。ブラジャーやガードルなど女性用下着だけでなく、男性・子供用の肌着類、靴下やストッキング、パジャマや水着などを有料(1050円)で回収し、中古衣料として輸出。売り上げの一部は乳がん検診の啓蒙活動を行うNPO法人「J.POSH(ジェイ・ポッシュ)」(大阪市鶴見区)が運営する、乳がんで保護者が死亡・闘病中の高校生支援の奨学金制度に寄付される。アイコでは平成22年から

## 現地雇用の支え

協業先で中古品輸出を手掛ける日本リユースシステム(東京都港区)の山田正人社長は「中古下着のリユースは欧米や途上国では当たり前。物を大事に扱い、海外に比べて品質が良いと評価される国内の中古品を海外に出すことは現地の雇用をも支える。下着の処分法の一つとして受け入れられれば」と話している。